

令和6年度第1回審議会

日 時	令和6年7月29日（月） 15時00分から16時35分まで
場 所	市役所北庁舎6階6-2会議室
出席委員	粥川基子、河合裕子、坂井孝行、清水宗夫、塚原千恵、早川貞子、原田峻平 （計7名）欠席：長村益穂
出席職員	長屋基盤整備部長、奥原基盤整備部参事 水道課 若林課長、山田、片岡 下水道課 奥田課長、酒向、那須（計8名）
傍聴者	なし

議事

(1) 報告事項

水道事業、下水道事業の現況・予算

(2) その他事項

上下水道料金改定の実施状況について

上下水道事の経営戦略について

司会 定刻となりましたので、只今から本年度第1回目となります。関市上下水道事業経営審議会を開会させていただきます。

今日は、公私ともお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

私、本日司会を務めさせていただきます。基盤整備部の長屋でございます。よろしくお願いいたします。

審議に入らせていただく前に、森川副市長から皆様に委嘱状の交付をさせていただきます。

このあと一人ずつお名前をお呼びさせていただきますので、その場でご起立をお願いいたします。

（各委員に手渡し）

ありがとうございました。皆さまの任期につきましては、令和8年6月30日までの2年間となります。よろしくお願いいたします。

なお、長村益穂様におかれましては、本日ご欠席の連絡をいただいております。

次に森川副市長より挨拶を申し上げます。

副市長 日頃は市政にご協力いただきましてありがとうございます。任期は2年間ということで皆さんからご意見を頂きたくよろしくお願いいたします。

この委員会は女性の委員が多いのですが、市は市長の附属機関の女性の登用割合について3割を目安（目標）としているところ3割に満たない委員会もあるなかでこの委員会は5割ということで非常に嬉しく感じております。市長に直接意見を申す機会であるこのような機関に女性も男性も等しく意見をいただけたらと思っております。

ます。

さて、(本年1月1日発災の)能登半島地震による被害状況でございますが、断水の解消に5カ月かかったということでございました。上下水道のようなインフラの被害は人口の流出につながるということでございまして上下水道の整備がいかにか大事かということを変更して思うわけでございます。関市に置き換えて考えますと震度7の地震がきたときに水道の耐震は本当に大丈夫だろうかと不安になってくるわけがあります。昨年度皆様から答申を受けまして今年度から上下水道料金を22%改定させていただきました。当面の間、水道の安定供給を行うことは可能ですが、今申し上げましたインフラの整備は今後も継続的に必要である反面、人口は今後も右肩下がり減少し利用料の増加は見込めないものと予測しております。その中で耐震化を進めていくことは大きな課題であると思っておりますので、この点についてもお知恵をお借りしたいと思っております。

また、中山間地域については人口減少が加速しており、特に下水道については如何に維持をしていくかが今後の課題となっております。この点についても皆さまからご意見を頂けたらと考えております。

締めになります。皆さまから上下水道を維持していくための多様なご意見を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

司会 ありがとうございます。

副市長におかれましては、次の公務のためここで退席させていただきます。

(副市長退出)

司会 本日からこのメンバーで審議していただく事になります。

はじめて顔を合わせる方もおみえになると思われますので、自己紹介の時間を設けさせていただきますと思います。

私からお名前をお呼びしますので、委員の皆さまには簡単な自己紹介をお願いいたします。

(各委員の自己紹介)

ありがとうございます。次に事務局の紹介をさせていただきます。

※その場で起立して自己紹介

このメンバーで上下水道事業経営審議会の事務局を担当させていただきますので、よろしくお願いたします。

司会 次に、会長、副会長の選出をお願いしたいと思います。

役員の選出でございますが、当審議会規則第3条第1項の規定により、委員の互選により定めるとありますが、選出について皆様のご意見がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。(発言なし)

事務局案をお諮りさせていただいてもよろしいでしょうか。

ご意見も無いようですので、事務局案をお諮りさせていただきます。

上下水道事業につきましては、昨年度まで当審議会において料金改定のご検討をいただき、本年4月より料金改定を行っております。この料金改定を踏まえた上で、今後の上下水道事業を進めていく必要があることから、前任期から引き続き、会長に原田様、副会長を清水様をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。ご賛同いただける方は挙手をお願いします。（拍手を頂く）

ご賛同いただけましたので、会長に原田様、副会長を清水様をお願いいたします。

それでは、審議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

（担当より資料確認）

司会 次に本日の会の成立について報告させていただきます。本日は、委員8名中7名のご出席をいただき、過半数を超えております。当審議会規則第4条第2項の規定により、本審議会が成立することを報告させていただきます。

それでは、（原田委員に会長席へ移動していただく。）

はじめに、原田会長に挨拶をお願いします。

（会長あいさつ）

司会 それでは、議題の審議に入らせていただきます。議事進行につきましては、審議会規則第4条第1項の規定により、原田会長に議長として議事進行をお願いさせていただきます。原田会長、よろしくをお願いいたします。

会長 それでは上下水道の現況、予算の説明をお願いします。

（上下水道課長から現況、予算を説明）

会長 説明が終わりましたので、上下水道事業の概要等、水道事業、下水道事業について、質疑のある方は、挙手の上、発言をお願いします。

無いようですので、私より2点ほどお聞きします。

料金収入は増えていますが、経費も増えてますね。

水道課長 修繕費は管路の老朽化に伴い毎年1.5億円程度は必要であり、件数も増加傾向にあります。修繕費を減らすためにも資本的支出による管路の整備は必要かと思えます。

会長 資本的支出については内部留保を使っているわけですね。

水道課長 収益的収支で算定される利益を積み立てて資本的支出の財源として使っております。

会長 下水道についても水道と同じように考えるわけですね。ただし、繰入金は料金が増えた分減らすことになるわけですか。

下水道課長 基準外繰入金は赤字補てんのため基本的に減らすことが望ましいと考えております。

会長 管路の更新についてはどのように考えていますか。

下水道課長 管路については水道と違いまだ耐用年数を過ぎた管路の割合が少ないため、設備の更新を優先的に行いたいと考えております。

委員 料金回収率というのは料金を納めていない割合とは違うようですが、そのような率は把握していないのですか。

水道課長 そのような割合は収納率として把握しております。

委員 収納率に関連して、料金を払えない方について給水停止している方は把握していますか。

水道課長 給水停止については2期納めていない方には催告書を送付しております。現在、給水停止は数件ありますが、実状は空き家が多く、実際に生活しておられる方は納めていただいております。

事務局 収納率については次回の第2回の審議会で報告させていただきます。

委員 わかりました。

会長 料金回収率の用語の使い方は分かりにくいので注釈をつけてはどうでしょうか。

事務局 資料に明記するよう検討したいと思います。

委員 コミプラについては農業集落排水と同じように生活雑排水を処理するものと考えていいのですか。

下水道課長 そのように考えてよろしいです。

会長 質疑もないようですので、次の議題、経営戦略について説明をお願いします。

(上下水道課長から説明)

委員 設備の更新についてはどうなっていますか。

下水道課長 下水道につきましては管路においては耐用年数を過ぎているものが少ないため、当面設備の更新を優先して行っています。いずれは管路の更新も行っていくことになります。

委員 (下水管の) 詰まりについてはどうですか。

下水道課長 詰まりについては必要に応じて清掃を行っております。

委員 震災時のバキューム体制はどうなっていますか。

下水道課長 詰まりについては日頃業者に委託して行っておりますので、震災時において業者と協力して行ってまいります。

委員 震災時に見受けられたし尿を固形化するものがあるそうですが処理についてはどうなるのですか。

下水道課長 浚渫処分することになっております。

水道課長 参考までに、水道事業では災害時に使用します組み立て式の給水タンクを今年度3基購入する予定です。このタンクを購入することにより、給水車が不在でも給水ができるようになります。

委員 水道の委託料が前年比となっていますが、料金改定と比例して増えるものですか。漏水についても今後工事を行っていくことで減っていくのでしょうか。

水道課長 委託料につきましては、徴収業務等を委託しており、今年度契約更新に際して委託内容を増やした分増額しております。

漏水の件につきましては、管の漏水修繕を1億4千万円程見込んでおります。修繕の場合は漏水箇所のみ直しますので、以降直さない弱い箇所に負担がかかりますが、更新(長い管の入れ替え)の場合ですと、大幅に改善されます。また、新しい管は地震に強く耐用年数も約100年となっております。ただし、管路更新率は毎年0.7%で推移しており、耐震化率は管路全体で17%、口径の大きい基幹管路の更新率は

41%と、全国平均を下回っております。現在、管路更新率を増やすために財源補填ができないか、財政当局と協議しているところです。

会長 委託範囲を増やすことで人件費は減るのですか。

水道課長 人件費は、職員数自体は以前より減っておりますが、今回の委託範囲の拡大で人件費の削減は見込んでおりません。

委員 資料を拝見して水道料金の単価が高いのか安いのか。また、有収率については、他の自治体と比較してどうなのでしょう。

水道課長 他市の有収率は70%以上が平均であり、優秀なところだと80%以上の市もございます。水道料金については自治体によって取水形態の違いがありますので一概に比較できませんが、関市も70%以上の有収率を目指していきたいと思っております。

委員 施設にお金をかけると原価が高くなると思いますが。

水道課長 たしかにコストはかかりますが、経費削減は必要であると考えております。

委員 管路の範囲はどのように考えるのでしょうか。料金改定したからといってすぐに新しく管を替えていただけるわけではないのでしょうか。

水道課長 道路に沿って埋設してある配水管、配水管から各家庭のメーターまでの給水管が市の管理となります。メーターから宅地側は各家庭の管理となっております。給水管の入替えについては配水管と一緒に更新しております。

会長 料金改定の周知についてはどうなっていますか。

水道課長 ちらしを検針員の協力のもと配布させていただき、企業についても文書を配布しております。

委員 給水量と排水量は同じ量になるように思えますがどうなのでしょう。また節水対策についても大切なので経営戦略に載せてはどうでしょうか。

水道課長 水道の供給と下水道の処理については、井戸水から取水し下水管に流している場合や不明水が下水管に流入している場合もありますので同じ量にはならないのです。

また節水機器につきましては、機器が普及している反面、このことが料金収入の減

少の要因となっておりますので、苦しいところです。しかしながら、節水についての重要性は認識しておりますので、経営戦略に載せることは拒むことではございません。

委員 電気についても同じジレンマがございますね。

会長 質疑もないようですので、議事をすべて終了し、進行を事務局に戻します。

事務局 次回の予定ですが、例年と同じく 11 月ごろ、また皆様の予定を伺って決めたいと思っております。

司会 原田会長におかれましては、適切に議事進行をしていただきありがとうございました。皆さまから多くのご意見を頂きました。水道については老朽管対策、下水道につきましましては設備の更新が課題となっております。さらに能登半島地震を踏まえた耐震化の推進も必要であります。しかしながら、これらをすべて料金収入で賄うのは困難でありますので、市からの繰入金について庁内で協議しているところでございます。特に経営戦略につきましましては、水道課は令和 5 年から下水道課は現在策定中ということですが、経営戦略につきましましては単なる目安ではなく事業化した段階で検証していくことを考えております。そうでないと物価高騰や人口減少の課題に対応できません。したがって、経営戦略についてはその都度進捗の報告をさせていただきたいと考えております。

慎重なご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

これをもちまして、本日の審議会は終了させていただきます。ありがとうございました。